

報告第11号

平成28年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、平成28年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業及び決算を別紙のとおり報告する。

平成29年8月31日

西脇市長 片山 象三

平成28年度事業報告書及び決算報告書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

平成28年度事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

当財団では、兵庫県及び地域行政の支援を受けながら関係業界と連携し、地場産業の振興のための効果的な育成支援事業を展開するとともに、地場産品のPRや販路拡大等の活性化事業に取り組んでいる。

我が国の経済は全体として上向いていると言われているが、地方経済に重要な役割を占める地場産業においては厳しい状況が続いている。

とりわけ、「播州織」の生産数量は、対前年比約13%減となり依然厳しい状況が続いている。一方、「播州釣針」の生産数量は、対前年比がほぼ横ばいとなった。

地域経済の活性化には地場産業の振興が重要であり、「播州織」の業界においては、「播州織」ブランドの発信と新商品の開発、総合素材展の開催、播州織縫製品のPRや販路拡大等の振興事業に、「播州釣針」の業界においては、各種展示会への出展、播州釣針等のPRに積極的に取り組んできた。

平成28年度の事業実施状況を次のとおり報告する。

記

〔公益目的事業〕

(公1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業(定款第4条第1号)

(1) 播州織ブランド新商品試作開発事業(播州織)

「播州織」ブランドの発信と最新の先染織物播州織を市場に提案するため、播州織業界各団体から推薦を受けた委員で構成する新商品試作開発委員会を組織し、「変幻自在」をテーマに染・織・加工の技術を駆使した先染生地を試作開発した。

試作開発した生地は合計15点となり、平成29年2月21日及び22日に東京都港区北青山のTEPIAで開催した「播州織総合素材展2017」のテーマゾーンで展示を行った。

(県の地場産品マーケット対応力強化事業の助成を受けて実施)

2 地場産業製品の普及事業(定款第4条第2号)

(1) 播州織総合素材展事業(播州織)

高度な技術を駆使した最新の播州織の先染新製品を提案するこ

とにより、「播州織」ブランドの発信と新規顧客の開拓、デザイナー・クリエイター及び小売業界との新しい取組を行い、商談率の向上を図るため、7年ぶりに東京で総合素材展を開催した。

播州織業界（産元、染色、織布、加工）、兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター及び地域行政で実行委員会を組織した。

実行委員会を4回、出展者打合せ会を3回開催し、実施要領、総合テーマ、会場レイアウト、展示方法、案内先等について、事業の企画調整と準備を行った。

出展者数は20社、1団体及び1グループで、展示会場に20小間を配置し、展示会場には商談コーナーも設けた。

展示会名	播州織総合素材展2017
総合テーマ	『Messa ORI Masse 播州織メッセ！2017』
開催日	平成29年2月21日（火）・22日（水）
場所	T E P I A 3階 エキシビジョンホール
出展者数	20社、1団体、1グループ
参加者数	1,284人（21日 548人、22日 736人）

(2) 播州織ブランド普及振興事業（播州織）

播州織を使用した魅力ある製品づくりを行い、消費者に直接「播州織」ブランドをPRし、イメージアップを図るため、播州織ブランド普及振興事業実行委員会（県、地域行政、西脇商工会議所、播州織業界団体で構成）を組織して、事業の企画と実施に当たった。

ア 播州織コレクション事業

「播州織」ブランドと播州織の良さをPRするため2事業を実施した。

(ア) 新商品・新技術開発事業

デザイナーと産地が連携して製品の試作開発を行うもので、今年度は、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会所属の5人のデザイナーと播州織産元協同組合の13社とのコラボレーションにより、デザイナー1人当たり6点、合計30点を試作開発した。

(イ) 販路開拓事業

消費者に直接「播州織」ブランドをPRするため、新商品・新技術開発事業で5人のブランドデザイナーと産地とのコラボレーションにより試作開発した製品を、平成29年2月に開催したファッションショー「播州織コレクション」で披露

した。

また、播州織コレクション来場者には、PR用のパンフレットと特別に製作した播州織ハンカチを配布した。

展示会名 播州織コレクション2017

開催日 平成29年2月21日（火）・22日（水）

場所 T E P I A 3階 エキシビジョンホール

ショー 第1部 11:30～、第2部 15:00～

（県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施）

イ ブランド発信PR事業

播州織ブランド専用ホームページにおいて、「播州織」ブランドの普及のため、ファッションショー等のイベント内容や播州織生産数量データ等の更新を行い、「播州織」ブランドを発信し、PRした。

（県の地場産業ブランド力強化促進事業の助成を受けて実施）

- ウ 一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会との連携
平成28年6月に開催された日本アパレル・ファッション産業協会の総会等において、ファッションショーのために開発した製品・生地の展示及び地元の山田錦を使ったお酒等を提供し、アパレル関係者、商社関係者に対して播州織産地のPRを行った。

(3) 播州織海外普及研修支援事業（播州織）

ア 海外派遣支援事業

播州織の海外への効果的な展開を図るため、産地企業が海外の商社等に人材をインターンシップとして派遣し、海外市場のニーズや海外マーケティングのノウハウを習得するための人材海外派遣を支援した。

派遣期間においては、パリの有名ブランドで播州織のプレゼンテーションなどを行い、現在のトレンドを知り、マーケティングノウハウを習得してきたことで、今後播州織の海外輸出拡大が期待される。

(ア) パリへの派遣

平成28年3月22日から1人がパリに渡航しインターンシップを開始し、同年7月10日に帰国した。

受入先 E S M O D P A R I S

イ 試作支援事業

産地企業の海外への販路拡大を推進するため、海外派遣支援事業に合わせて海外バイヤー向けのサンプル試作を支援した。

インターンシップ先から試作の要望を受け、合計6点の生地を試作し、2ブランドへ提案することができた。

(4) 播州織ジョブフェア開催事業（播州織）

播州織ジョブフェアは、「西脇ファッション都市構想」の一環で若手デザイナー、クリエイター、学生等の人材を産地へ呼び込む初めての試みとなった。

播州織産地の概要、産地企業紹介、起業事例紹介、移住してもつづくりに挑戦している人材紹介等を動画、ポスター等を行うとともに、トークショーにおいて産地で起業した事業所の社員及び産地の若手による播州織産地の魅力等を発信し、同時にインターネットによるライブ配信を行った。

特設コーナーでは、播州織生産工程をパネル展示と動画で紹介し、また産地企業19社、若手人材13人のポスターを展示し、紹介した。

名 称	播州織ジョブフェア
開 催 日	平成29年2月21日（火）・22日（水）
場 所	T E P I A 3階 エキシビジョンホール
参加者数	1,284人（うち、学生229人、団体・学校関係105人、企画・デザイナー59人）

(5) 播州釣針地場産業展出展事業（釣針）

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展し、市場関係者及び消費者の関心を高め需要拡大の機会の創出を図った。

ア にしわき産業フェスタ

開 催 日	平成28年11月12日（土）・13日（日）
場 所	西脇市総合市民センター
参加者数	約16,000人
内 容	伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演と播州釣針及び釣針製品の展示を行った。

イ 2016全国くらしの工芸展・ふくい

開 催 日	平成28年11月25日（金）～27日（日）
-------	-----------------------

場 所 福井県越前市 サンドーム福井
参加者数 約18,000人
内 容 伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演と播州釣針及び釣針製品の展示を行い、パンフレットを配布した。

ウ ジャパンフィッシングフェスティバル2017
開 催 日 平成29年1月20日（金）～22日（日）
場 所 横浜市西区みなとみらい パシフィコ横浜ホール
参加者数 38,635人（出展者 172企業・団体、706小間）
内 容 伝統工芸士による播州毛鉤の製作実演を行った。

(6) 播州釣針普及事業（釣針）

播州釣針をPRし、消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るため、釣り大会や海釣り教室を実施した。

また、資源保護のために稚魚の放流も行った。

ア 鮎の毛鉤釣り大会
開 催 日 平成28年6月5日（日）
場 所 栃木県 鬼怒川
参加者数 68人

イ 稚魚の放流事業
開 催 日 平成28年6月8日（水）
場 所 武庫川河口周辺、神戸市立平磯海づり公園周辺、二見東人工島マリーナ周辺
参加者数 37人

ウ ファミリー海釣り教室
開 催 日 平成28年10月1日（土）
場 所 福井県大飯郡おおい町 あかぐり海釣り公園
参加者数 66人

3 地場産業の経営者、技術者等の研修事業（定款第4条第4号）

(1) 人材育成事業（播州織）

播州織ブランドの産地生産体制の維持には産地の内部基盤を強化する必要があることから、事業承継や技術承継のために、ブラ

ンドのPR力、製品の企画力、製造技術の習得等のセミナーを開催した。

ア ブランド発信のためのPRツール・手法の習得

内 容 SNSを利用して商品やブランドをPRする手法についての研修会を5回コースで実施

開催日時 平成28年8月23日（火）、30日（火）、9月6日（火）、13日（火）、20日（火） 14：00～

講 師 内橋麻衣子氏（エルソル広告相談所）

場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

参加者数 20人

イ ブランドPR戦略

内 容 播州織ブランドのPR戦略について講演会とワークショップを実施

テ ー マ ブームを作る～人がみずから動く仕組み～

開催日時 講演会

平成28年9月2日（金） 13：30～

ワークショップ

平成28年12月1日（木） 13：30～

講 師 殿村美樹氏（PRプロデューサー）

場 所 西脇市茜が丘複合施設「Miraie」

参加者数 講演会 53人

ワークショップ 13人

ウ 売れる製品づくりへの企画力・デザイン力の習得

内 容 企画・デザイン最新情報の講演会を実施

テ ー マ 2017-2018年秋冬までの素材傾向総括
速報2018年春夏カラーのヒント

開催日時 平成28年10月14日（金） 13：30～

講 師 車 純子氏（元(株)東洋紡FPI、素材開発プロデューサー）

場 所 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター

参加者数 40人

エ 基礎的な製造技術の習得

内 容 ベテラン職人による技術承継講習を実施

テ ー マ	独特の技術 “からみ織 “を知る
開催日時	平成28年12月22日（木） 14：30～
講 師	藤原博明氏
場 所	藤祐繊維株式会社
参加者数	30人

〔収益等事業〕

その他の事業

（他1）地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業（定款第4条第3号）

1 播州織情報収集事業（播州織）

播州織の生産状況や出荷状況などの情報を迅速に把握し、生産の効率化を図るため、提携している一般財団法人メンケン品質検査協会や業界団体等の各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、行政機関や関係先等の産地内外に提供した。

（他2）地場産業振興のための調査事業（定款第4条第5号）

1 戦略推進事業（播州織）

(1) 播州織ビジョン委員会（播州織を守る会）

数年間にわたり運営会議や各種ワーキンググループで検討され、播州織ビジョン委員会として報告された「播州織への提言」の内容、①ブランド管理、②播州織ブランドの外部発信力強化、③播州織ブランド内部基盤強化等について、実行状況を見守った。

(2) 産地間交流事業

地場産業「播州織」振興のための情報収集を目的に、他産地との「産地間交流事業」を実施した。

ア 滋賀県の麻の湖東産地視察

開催日	平成28年11月1日（火）
場 所	湖東繊維工業協同組合（東近江市垣見町） 株式会社大長（東近江市御箇荘築瀬町） 滋賀麻工業株式会社（愛知郡愛荘町市）
参加者数	播州織産地 27人

イ 和歌山県繊維協会との交流会

開催日	平成29年3月9日（木）
場 所	播州織工業協同組合厚生会館
参加者数	和歌山県繊維協会 13人

(他3) 地場産業製品の普及に関する事業(定款第4条第2号)

1 縫製品PR事業(播州織)

播州織縫製品の展示を行い、消費者へのPRをし、需要拡大の機会を創出した。

(1) PR事業

ア 北はりまビジネスフェア

開催日 平成28年10月21日(金)・22日(土)

場所 小野市総合体育館

参加者数 約2,500人

内容 播州織コレクションで発表したデザイナーとのコラボレーションによる試作製品や播州織を使用した製品、播州織の小物製品等を展示するとともに、播州織の概要をパネルで展示し、来場者(消費者)にPRした。

イ にしわき産業フェスタ

開催日 平成28年11月12日(土)・13日(日)

場所 西脇市総合市民センター

参加者数 約16,000人

内容 播州織を使用した製品を展示するとともに、播州織の概要をパネルで展示し、来場者(消費者)にPRした。

平成28年度収支決算書

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	76,538	84,504	△ 7,966
普通預金 (三井住友)	5,060,424	2,792,879	2,267,545
普通預金 (商工中金)	260,103	278,404	△ 18,301
普通預金 (大和ネクスト)	15	0	15
定期預金 (大和ネクスト)	5,000,000	25,000,000	△ 20,000,000
定期預金 (みのり農業協同組合)	20,000,000	0	20,000,000
未収金	6,977,909	5,387,644	1,590,265
流動資産合計	37,374,989	33,543,431	3,831,558
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 (大和ネクスト)	5,000,000	5,000,000	0
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	205,000,000	205,000,000	0
(2) 出資金			
出資金	1,200	1,200	0
出資金合計	1,200	1,200	0
固定資産合計	205,001,200	205,001,200	0
資産合計	242,376,189	238,544,631	3,831,558
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	5,500,000	4,000,000	1,500,000
未払金	0	0	0
預り金	5,945,000	3,646,000	2,299,000
流動負債合計	11,445,000	7,646,000	3,799,000
負債合計	11,445,000	7,646,000	3,799,000
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	230,931,189	230,898,631	32,558
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	230,931,189	230,898,631	32,558
負債及び正味財産合計	242,376,189	238,544,631	3,831,558

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	434,343	585,448	△ 151,105
基本財産利息収入	434,343	585,448	△ 151,105
受取補助金等	33,329,056	16,163,065	17,165,991
ブランド力強化促進補助金	5,500,000	4,000,000	1,500,000
マーケット対応力強化事業補助金	1,300,000	1,173,065	126,935
地場産業元気づくりイベント支援事業補助金	383,000	0	383,000
団体補助金	160,000	160,000	0
地方公共団体補助金	25,986,056	10,830,000	15,156,056
受託収入	0	0	0
受取負担金	10,700,000	13,093,065	△ 2,393,065
分担金収入	10,700,000	13,093,065	△ 2,393,065
受取寄付金	0	0	0
寄付金収入	0	0	0
雑収益	75,344	39,471	35,873
受取利息	75,344	39,471	35,873
雑収入	0	0	0
経常収益計	44,538,743	29,881,049	14,657,694
(2) 経常費用			
事業費	34,285,819	19,543,989	14,741,830
謝金	0	305,000	△ 305,000
旅費	3,361,820	2,735,561	626,259
会議費	31,493	32,447	△ 954
通信運搬費	778,863	401,222	377,641
印刷製本費	723,762	583,926	139,836
消耗品費	827,861	461,302	366,559
研究開発事業費	1,470	0	1,470
賃借料	3,190,003	2,389,476	800,527
会場整備費	10,583,610	2,344,463	8,239,147
広告宣伝費	1,455,778	1,076,620	379,158
外注加工費	1,279,920	25,920	1,254,000
役務費	259,200	259,200	0
原材料費	387,418	325,150	62,268
負担金支出	48,500	52,000	△ 3,500
雑費	7,776	2,592	5,184
支払手数料	11,016	4,644	6,372
繰入金支出	11,337,329	8,544,466	2,792,863

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	10,220,366	10,317,362	△ 96,996
給料手当	6,488,400	6,419,900	68,500
福利厚生費	1,202,452	1,251,327	△ 48,875
通勤費	120,000	120,000	0
会議費	5,334	4,647	687
旅費交通費	76,580	106,140	△ 29,560
通信運搬費	53,812	60,376	△ 6,564
消耗品費	293,309	208,847	84,462
印刷製本費	24,300	30,780	△ 6,480
賃借料	1,070,540	1,037,470	33,070
共益費	301,320	301,320	0
諸謝金	305,856	363,096	△ 57,240
負担金支出	165,700	195,700	△ 30,000
支払利息	17,117	10,695	6,422
雑費	95,646	207,064	△ 111,418
経常費用計	44,506,185	29,861,351	14,644,834
当期経常増減額	32,558	19,698	12,860
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	32,558	19,698	12,860
一般正味財産期首残高	230,898,631	230,878,933	19,698
一般正味財産期末残高	230,931,189	230,898,631	32,558
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	230,931,189	230,898,631	32,558

財 産 目 録

(平成29年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	手元保有高	運転資金	76,538	
	預金	普通預金 三井住友銀行西脇支店	運転資金	5,060,424	
	預金	普通預金 商工中金神戸支店	〃	260,103	
	預金	普通預金 大和ネクスト銀行	〃	15	
	預金	定期預金 大和ネクスト銀行	〃	5,000,000	
	預金	定期預金 みのり農業協同組合	〃	20,000,000	
	未収金	28年度県補助金		6,800,000	
		基本財産運用益	運転資金	177,909	
流動資産合計				37,374,989	
(固定資産)	基本財産	定期預金	大和ネクスト銀行	運用益を財団運営に使用	5,000,000
		投資有価証券	利付商工債	〃	180,000,000
		投資有価証券	兵庫県市町共同公募債	〃	20,000,000
	その他固定資産	出資金	県火災共済(協)	什器備品の火災保険加入	1,200
固定資産合計				205,001,200	
資産合計				242,376,189	
(流動負債)	短期借入金	商工中金神戸支店		5,500,000	
	預り金			5,945,000	
流動負債合計				11,445,000	
負債合計				11,445,000	
正味財産				230,931,189	

平成28年度事業別決算額説明

(単位：円)

区分	事業名	科目	予算額	決算額	備考	
(公1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業	新商品・新技術研究開発事業	播州織ブランド新商品試作開発事業	繰入金支出	2,871,000	2,868,302	特別会計へ
			合計	2,871,000	2,868,302	
	播州織総合素材展事業		旅費	384,000	383,680	職員・委員旅費
			会議費	15,000	13,750	委員会賄費
			通信運搬費	227,000	306,180	郵送料、輸送代
			印刷製本費	432,000	432,000	案内状、出展者リスト他印刷費
			消耗品費	225,000	224,945	PR用品、事務用品他
			賃借料	842,000	841,958	展示会場、会議室借料
			会場整備費	1,655,000	1,654,797	会場設営費
			広告宣伝費	204,000	203,040	ホームページ更新料他
			支払手数料	3,000	2,484	振込手数料
				合計	3,987,000	4,062,834
	播州織ブランド普及振興事業		旅費	113,000	112,440	職員旅費
			会議費	16,000	15,320	デザイナーとの打合賄費他
			通信運搬費	24,000	23,078	郵送料
消耗品費			1,000	850	展示用品	
広告宣伝費			64,000	63,658	宣伝費	
支払手数料			1,000	432	振込手数料	
繰入金支出			5,193,000	5,188,571	特別会計へ	
			合計	5,412,000	5,404,349	
播州織海外普及研修事業		旅費	1,007,000	1,006,056	海外研修滞在費	
		研究開発事業費	2,000	1,470	資料作成費	
		支払手数料	1,000	432	振込手数料	
		繰入金支出	901,000	900,432	特別会計へ	
	合計	1,911,000	1,908,390			
地場産業製品の普及事業	播州釣針地場産業展出展事業	旅費	426,000	425,660	委員旅費	
		賃借料	95,000	94,500	出展料	
		原材料費	126,000	126,000	釣体験エジマズ代	
		支払手数料	1,000	216	振込手数料	
			合計	648,000	646,376	
播州釣針普及事業		旅費	344,000	343,320	委員旅費	
		消耗品費	28,000	27,259	横断幕、セッケン他	
		印刷製本費	161,000	160,430	案内状、ポスター	
		賃借料	312,000	311,920	釣り大会バス賃借料他	
		原材料費	262,000	261,418	放流費、餌代	
		負担金支出	49,000	48,500	入漁料	
		支払手数料	2,000	1,404	振込手数料	
			合計	1,158,000	1,154,251	
播州織ジョブフェア開催事業		旅費	949,000	948,740	委員旅費	
		会議費	1,000	525	会議賄費	
		通信運搬費	286,000	285,568	郵送料	
		印刷製本費	132,000	131,332	配布物、封筒他	
		消耗品費	467,000	466,963	PR用品、事務用品他	
		賃借料	1,931,000	1,930,125	展示会場、会議室借料	
		会場整備費	8,929,000	8,928,813	会場設営費	
		広告宣伝費	1,190,000	1,189,080	新聞・専門誌広告費他	
		外注費	1,255,000	1,254,000	製品製作費他	
		支払手数料	6,000	5,508	振込手数料	
		繰入金支出	768,000	767,016	特別会計へ	
	合計	15,914,000	15,907,670			

区 分	事業名	科 目	予算額	決算額	備 考	
地場産業の経営者、 技術者の研修事業	人材育成事業	繰入金支出	1,625,000	1,613,008	特別会計へ	
		合 計	1,625,000	1,613,008		
その 他 の 事 業	(他1) 地場産業振興のため の情報の収集提供に 関する事業	播州織情報収集 事業	通信運搬費	168,000	162,972	電話回線使用料、郵送料
			消耗品費	108,000	107,259	専門紙、資料作成代
			外注費	26,000	25,920	ドメイン更新費
			役員費	260,000	259,200	調査資料費
			支払手数料	1,000	108	振込手数料
	合 計	563,000	555,459			
	(他2) 地場産業振興のため の調査事業	戦略推進事業	旅 費	142,000	141,924	産地間交流バス代、職員旅費
			会 議 費	3,000	1,898	会議賄費
			消耗品費	1,000	585	事務用品
			雑 費	8,000	7,776	視察土産物代
			支払手数料	1,000	432	振込手数料
	合 計	155,000	152,615			
(他3) 縫製品PR事業	縫製品PR事業	消耗品費	2,000	1,065	展示用品代	
		賃 借 料	12,000	11,500	産業フェスタ小間料	
		合 計	14,000	12,565		
合 計			34,258,000	34,285,819		